

幼保連携型認定こども園 **YMCA 保育園 3月えんだより**

3月の聖句 「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」

マタイによる福音書第28章20節

夜明けの時間や空の色を見ますと、春の訪れを感じます。一年間の歩みを振り返りますと、子ども達がたくさんの方々の見守りの中で、保育の歩みを進められてきたことを感じます。保護者の方々や地域の方々は勿論のこと、子ども達の日々の食事や遊びを支えていただく事業者の方々や行政関係の皆さんのお支えにより歩みがあることも感じます。今年のテーマであります、「愛の交わりの中で」育まれる日々であったことと思います。教職員の日々の働きにも心より感謝をいたします。

さて、3月11日は、記憶にも新しい東日本大震災から早いもので8年が経過します。多くの人々が震災の惨状を目にした時に、不安や恐怖、絶望、命の尊さ等を強く実感したのではないのでしょうか。中には世の終わりを感じた方もおられたかもしれませんし、生きる希望を失った方もいるかと思えます。今月の聖句にあります「世の終わりまで、(神様は)いつもあなた方と共にいる」と約束して下さっているのなら、何故この災害から助けてくれなかったのか?と神様を信じる者でさえ、この出来事を受け入れられないことであります。日常生活の中で、私達は神様の存在を常に意識することは少ないといっても過言ではありません。こうした天変地異の出来事が起きた時や自らが苦境に立たされた時に、我々は目に見えない神様や仏様等を意識したり、お願いをしたりすることがあっても、常に意識しながら生きることの難しさと同時に大切さも感じます。

いつも信じること。最後まで信じること。このことはとても難しいことです。イエスが、人々の罪を背負い、十字架につけられ、弟子達の中に現れても、すぐに信じることができなかつた。その後起こる神様の愛の交わりを通して、自らに生きる力を与えられることによって神様を信じる事が確信できたといえるでしょう。

愛は、交わりの中に存在します。つまり絶えず「今、ここに神様がいます」そのことを意識していると、共にいてくださることに気づくのだと思うのです。毎日の生活のなかで、私達は「愛の交わり」ができたのでしょうか?一日一日を愛の交わりを通じて、過ごしてきたのでしょうか?反省することが多々あります。しかし、下を向かず天を仰ぎ、いつも私達の傍らには、人を愛して止まなかつた神様がいてくださることを信じてこれからも歩んでいきたいと願います。進級、進学を迎えていくこの一年間の歩みにご支援いただきましたことを深く感謝をもうしあげます。

| 3月 | 乳児 (0,1,2 歳児) | 幼児 (3,4,5 歳児) |
|------|---|--|
| 月主題 | おおきくなった | 心はずませて |
| 月の願い | <ul style="list-style-type: none"> *大きくなったことを喜ぶ *自分でできるという気持ちや、したいという意欲を持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> *神さまの守りの中で、大きくなったことを喜び感謝する。 *新しい生活へ安心して向かおうとする。 *友だちと協力しアイデアを出し合い、工夫し遊びを充実させる。 |
| 讃美歌 | ハレルヤ | ありがとう |